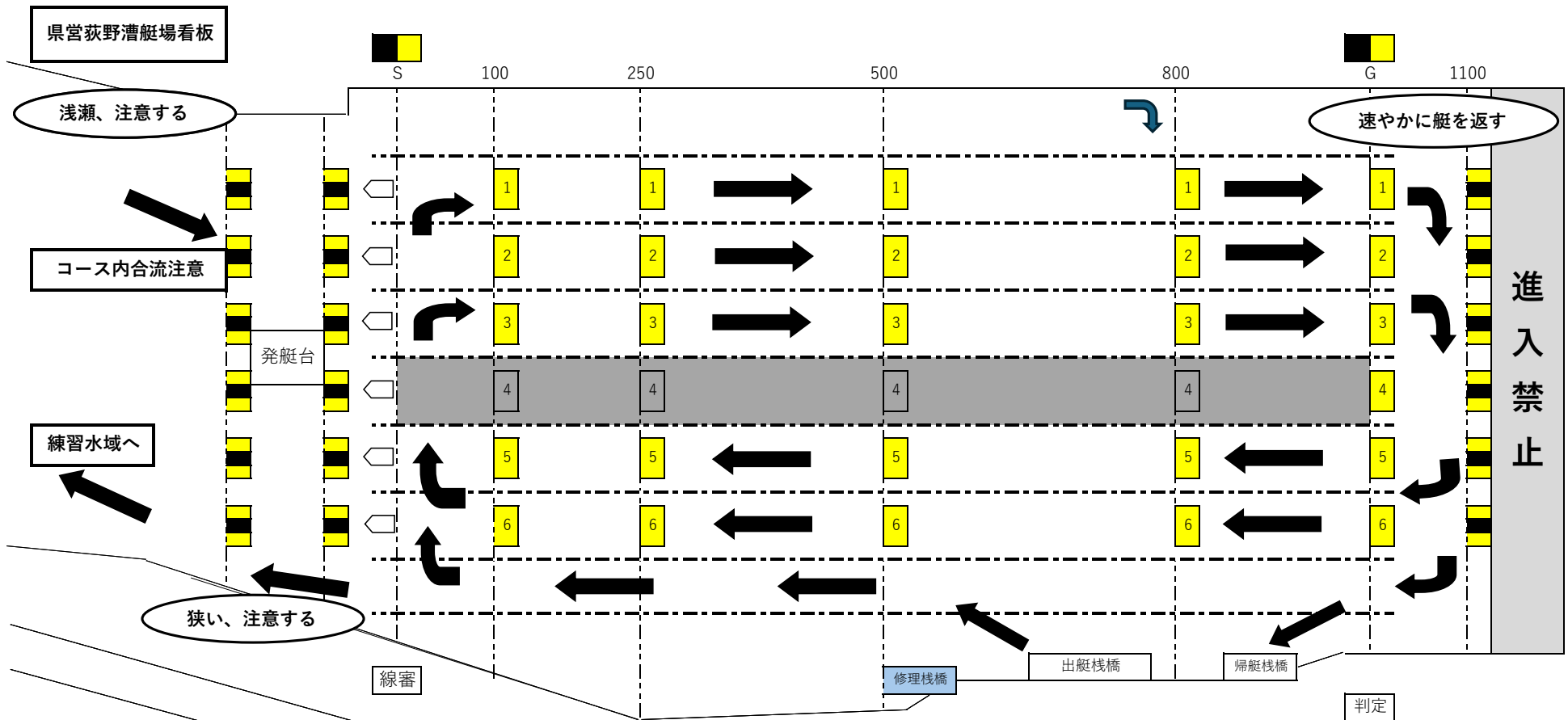


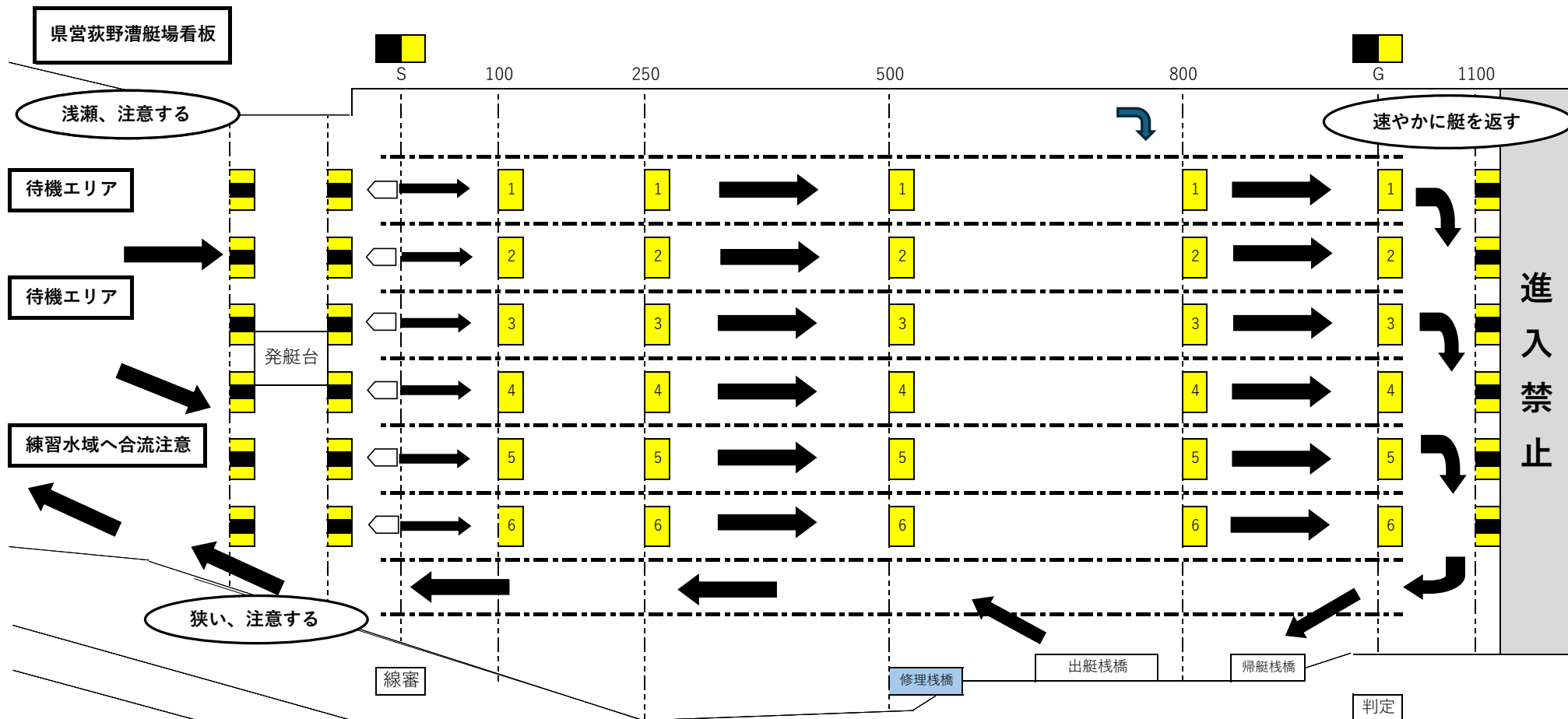
航行ルール（公式練習時）



- ・線審と6レーンの間は狭いので十分注意すること。
- ・回漕レーンは一方通行のため、修理栈橋に向かう際は1レーン外側もしくはコース内を
戻り途中から栈橋に向けてコースを横断すること。
- なお、常にマーシャルの指示に従い、周囲の安全に気を配ること。

リギング場
1 ×
2 ×

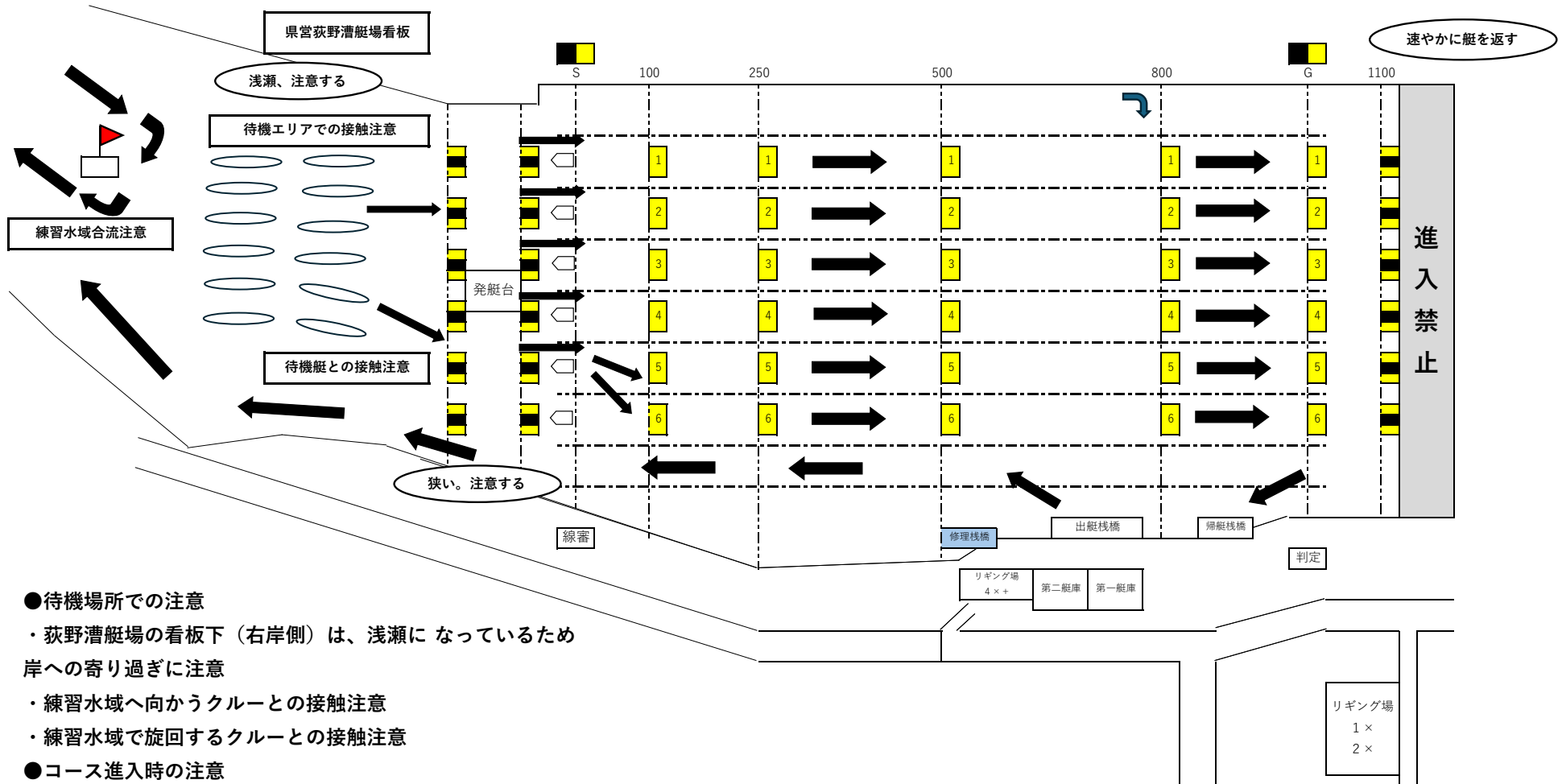
航行ルール（レース時）



- ・スタート地点へ向かう途中及びゴール後帰艇する際は、レースが近づいてきたら100メートル手前で停止し、レースが通過するまで待機すること。
- ・修理栈橋及び栈橋に戻る際には必ず審判員の許可を受け、指示に従うこと。
- なお、戻る場合には、1レーン外側を航行し、800mからコースを横断すること。

リギング場
1 ×
2 ×

レース時の待機場所、及びコース進入経路



●待機場所での注意

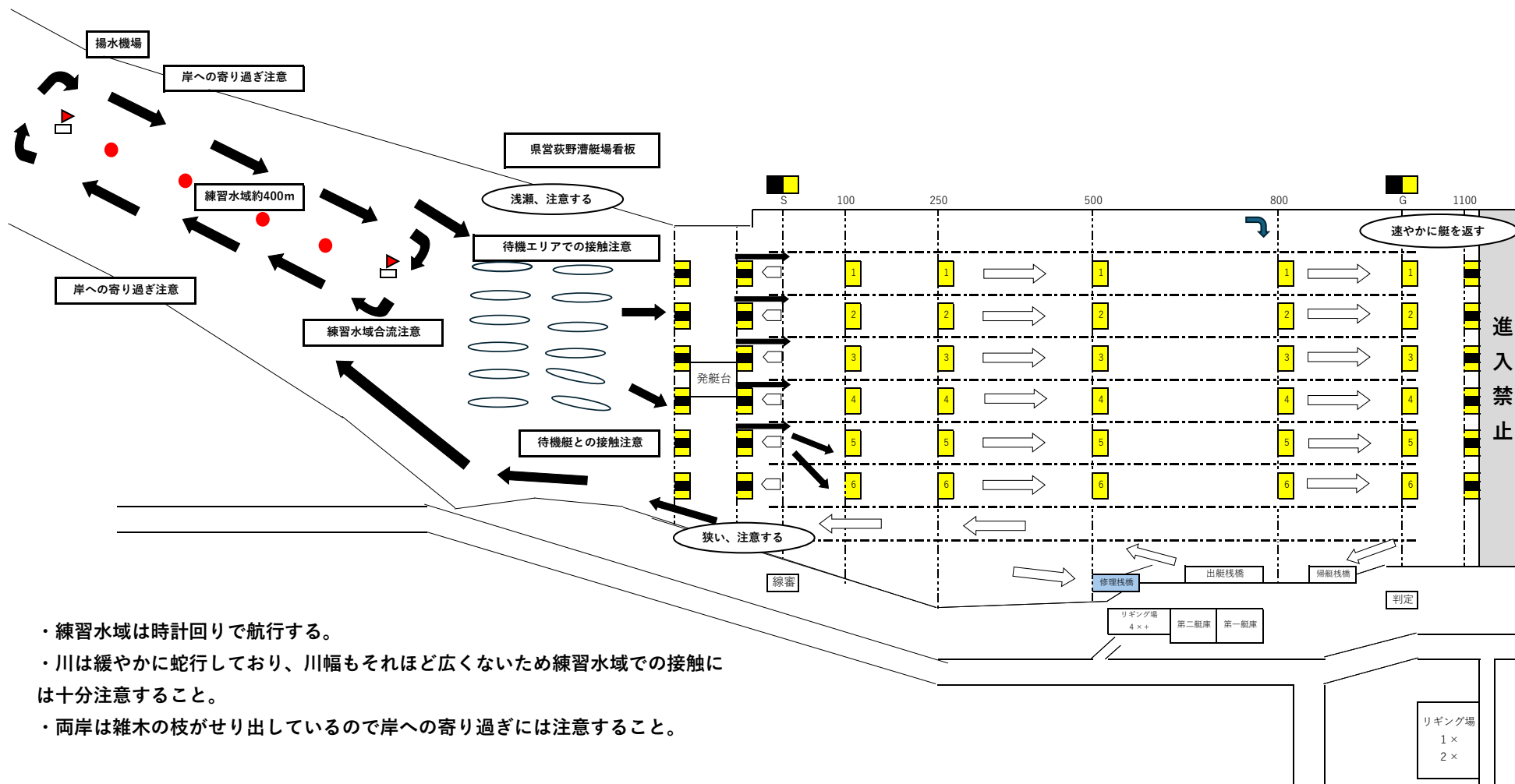
- ・荻野漕艇場の看板下（右岸側）は、浅瀬になっているため岸への寄り過ぎに注意

- ・練習水域へ向かうクルーとの接触注意
- ・練習水域で旋回するクルーとの接触注意

●コース進入時の注意

- ・6レーン岸側が狭く練習水域へ向かうクルーとの接触等の危険を回避するため5、6レーンのクルーは4、5レーンのステイクボートの間からコースへ移動すること。

レース時の練習水域における航行ルール



- ・練習水域は時計回りで航行する。
- ・川は緩やかに蛇行しており、川幅もそれほど広くないため練習水域での接触には十分注意すること。
- ・両岸は雑木の枝がせり出しているため岸への寄り過ぎには注意すること。